



CLEO | Family Law Series

**Separation and Divorce
Child Custody, Access,
and Parenting Plans**

**離別と離婚による
親権・面会交流権と養育計画**

December 2017
2017 年 12 月発行

< 免責事項 Disclaimer >

この「家族法シリーズ：離別と離婚による親権・面会交流と養育計画」は、CLEO (Community Legal Education Ontario / Éducation Juridique Communautaire Ontario) が 2017 年 12 月に発行した冊子「CLEO Family Law Series: Separation and Divorce—Child Custody, Access, and Parenting Plans」の日本語版です。翻訳の正確性に関しては、CLEO の許可を得ている Japanese Social Services (JSS) が全責任を担い、CLEO の関与するところではありません。

This is a translation of “**CLEO Family Law Series: Separation and Divorce-Child Custody, Access, and parenting Plans,**” dated December, 2017, produced in English by CLEO (Community Legal Education Ontario/ Éducation juridique communautaire Ontario). Japanese Social Services (JSS) is wholly responsible for the accuracy of this translation, produced with permission of CLEO.

Table of Contents 目次

Introduction.....	1
初めに	
Who will the child live with?.....	1
子どもは誰と一緒に住むのですか？	
What is custody?	1
Custody（親権）とは何ですか？	
What are the different types of custody?	2
親権にはどのような種類がありますか？	
What is access?	3
Access（面会交流・面会交流権）とはなんですか？	
What are some of the different types of access?.....	3
どのような面会交流がありますか？	
Does child support affect a parent's right to access?	4
養育費は親の面会交流権に影響しますか？	
Can someone other than parents get custody and access?.....	5
親以外の人が親権や面会交流権を得ることはありますか？	
Travelling with a child	5
子どもとの旅行	
Can a parent move with their child?.....	6
親は子どもと引っ越すことができますか？	
How are parenting plans decided?	6
Parenting Plan（養育計画）はどのように決められますか？	
Finding a Lawyer	10
弁護士を探す	
Getting more information.....	12
更なる詳しい情報を得るには	
What if I cannot afford a lawyer?.....	12
弁護士費用の負担が難しい場合	
Other information and resources.....	14
その他の情報と資料	

◎ Introduction

初めに

親は離婚する際、子どもの養育をどう担っていくかを決める必要があります。親は下記の重要事項について決めなくてはなりません。

- ・ 子どもがどこに住むか
- ・ 子どもの世話や養育に関する重要事項をどう決めるか
- ・ それぞれの親と子どもがどのくらいの時間を過ごすか
- ・ それぞれの親が養育においてどのような役割を担うか

上記の事項を、「**custody（親権）**」と「**access（面会交流・面会交流権）**」と言います。親が上記について合意した場合、「**Parenting Plan（養育計画）**」を作成することができます。

この冊子で「両親」と表記されている場合、子どもにとって親である可能性のある人全てを指します。

◎ Who will the child live with?

子どもは誰と一緒に住むのですか？

別居している親を持つ子どもは、主に片方の親と一緒に住んだり、両方の親と時間を分けて住む場合があります。

子どもがどこに住むかは、子どもにとって最善となり得るものであることが大切です。例えば、多くの時間を一方の親と子どもが過ごしている場合は、週の半ば 1 日と隔週の週末を他方の親と過ごすケースがよくあります。

◎ What is custody?

Custody（親権）とは何ですか？

親権とは、子どもの世話や養育に関する重要な決定を下すことができる権利のことをいいます。

親権を持っている親は、下記を決めることができます。

- ・ 子どもの教育
- ・ 子どもの宗教
- ・ 子どもの医療

親権とは、どちらが子どもと一緒に住むか、または子どもがどのくらいの時間を各々の親と一緒に過ごすかについてではありません。

例えば、片方の親のみが親権者でも、子どもは両方の親と同じ量の時間を過ごせます。または、子どもが主に片方の親と同居していても、両方の親が親権を持ち一緒に決めることもできます。

◎ What are the different type of custody?

親権にはどのような種類がありますか？

Joint Custody（共同親権）

共同親権では、子どもに関する重要な決定事項に両方の親が合意しなければなりません。一方の親が他方の合意なく決めることはできません。

共同親権は、双方が養育について同じような考えを共有している場合には最適な選択であり、多くの協力を必要とするものです。

共同親権を持つ親は、意思決定の役割を分担することもあります。例えば、一方が医療に関する決定をし、他方が教育に関する決定を行うなどです。

Sole Custody（単独親権）

単独親権では、一方の親に子どもに関する全ての決定権があります。単独親権保持者は、決定を下す前に他方の親に相談しなければいけないこともありますが、双方の合意は必要ありません。

一方の親が単独親権保持者である場合、他方の親は通常、**面会交流権 (access)** を持っています。

◎ What is access?

Access（面会交流・面会交流権）とはなんですか？

子どもが主に一方の親と同居する場合、他方の親は子どもと一緒に時間を過ごす権利が大体においてあります。これが面会交流権です。

面会交流権を持つ親は、子どもの健康・教育・生活状態を親権保持者または学校や病院などに問い合わせたり、情報を得ることができる権利もあります。しかし、ある種の健康面の情報、例えば病院の記録などは、事前に単独親権保持者からの書面での同意が必要となる場合があります。

◎ What are some of the different types of access?

どのような面会交流がありますか？

Reasonable Access（合理的な面会交流）

両方の親が協力できる場合は、面会交流の日程を臨機応変に決めることができます。これを、「**Reasonable Access（合理的な面会交流）**」または「**Liberal and Generous Access（自由で寛大な面会交流）**」と言います。その時の状況に応じて、非公式で面会を計画することができます。

Fixed Access（固定された面会交流）

日時と詳細な予定が決められている面会交流を、「**Fixed Access（固定された面会交流）**」または「**Specified Access（特定された面会交流）**」と言うことがよくあります。祝日や連休、子どもの誕生日や宗教的行事などが含まれます。面会交流が行われる場所や、子どもの受け渡しに関する取り決めなど、その他の条件が含まれることもあります。

Supervised Access（管理下での面会交流）

ある状況下では、面会交流が第三者による管理のもとで行われなければならない場合があります。例えば、面会交流権を持つ親が以下の状況にある場合、Supervised Access となることがあります。

- ・ 飲酒や薬物使用の問題を抱えている
- ・ 過去に児童虐待をしたことがある、または
- ・ 他方の親から子どもを連れ去ろうと脅迫、もしくは試みたことがある

この場合の第三者とは、親戚、友人、ソーシャルワーカー、Supervised Access Centre（管理面会交流センター）職員、または Children's Aid（児童保護団体）職員などです。

No Access（面会交流禁止）

最も極端な場合は、子どもとの面会が一切許されません。例えば、深刻な児童ネグレクト（育児放棄）や子どもへの虐待があったり、子どもの安全を守れないと判断された場合です。

◎ Does child support affect a parent's right to access? 養育費は親の面会交流権に影響しますか？

影響しません。面会交流権と養育費は法的に別々の問題となります。片方の親が養育費を支払わなかったという理由で、面会交流権を否定されることはありません。また、面会交流・面会交流権がなくても養育費の支払いを求められる可能性があります。詳しい情報は CLEO の [Separation and Divorce: Child Support](#) を参照してください。

◎ Can someone other than the parents get custody and access?

親以外の人が親権や面会交流権を得ることはありますか？

通常、親権や面会交流権が得るのは子どもの親ですが、義理の親や祖父母、親戚などの場合もあります。もしくは、親族ではなく子どもと親しい関係にある知人ということもあります。

単独親権保持者の親は、自分の死亡 90 日以内に誰が親権保持者となるのかを予め決めておくことができます。この候補者が他方の親である必要はありません。この 90 日間の期間の後には、指名された人もしくは他の誰もが裁判所で親権取得の申請をすることが可能です。

裁判所は、子どもにとっての最善の利益を考慮し親権や面会交流権の決定を下します。

この冊子で「親」と表記されている場合、親権や面会交流権の保有者を指します。

◎ Travelling with a child

子どもとの旅行

子どもと旅行に出かける前に、同意書や裁判所命令を読み、以下について確認しましょう。

- ・ 旅行へ行く承諾を他方の親から得る必要があるか
- ・ 緊急連絡先やフライトなどの旅程情報を他方の親と共有する必要があるか

単独親権保持者であっても、子どもとの旅行時は他方の親からの承諾が必要な場合があります。

カナダ国内または旅行先の国の当局職員から、子どもと旅行ができることを証明する書類の提示を求められる可能性があります。当局職員は、親子が出入国できるか否かを決めることができます。

遅延や入出国拒否を防ぐ為にも、他方の親の署名付き旅行承諾書を用意しておくことをお勧めします。また、旅行に関して記載されている同意書や裁判所命令書のコピーを携帯しておいたほうがいいでしょう。

16 歳未満の子どものパスポートを取得するには、申請書に両親の署名が必要なことがほとんどです。

◎ Can parent move with their child?

親は子どもと引っ越すことができますか？

他方の親の面会交流に影響がなければ、大抵は親は子どもと引っ越すことができます。引っ越しが理由で他方の面会交流に影響が生じる時は、他方の親の承諾または面会交流変更の裁判所命令が必要となります。裁判所へ行く場合には、引っ越しを望む親は引っ越すことが子どもの最善の利益であることを裁判官に納得してもらうことが必要です。

◎ How are parenting plans decided?

Parenting Plan（養育計画）はどのように決められますか？

親は自分たちで、または弁護士や調停人（mediator）などの双方が信頼できる人からの協力を得ながら、親権・面会交流権・養育計画について合意できるよう努力します。

双方の親が合意した場合、**Parenting Agreement（養育同意書）**や**Separation Agreement（離別同意書）**、**Paternity Agreement（扶養同意書）**と呼ばれるような養育計画を書面で作成します。

養育計画書の作成に弁護士は必須ではありませんが、同意書に署名をする前に弁護士から各々法的助言を得ておくとういでしょう。なお、両親が同じ弁護士から助言を得ることはできません。法的なサポートに関する詳しい情報については 10 ページの [Finding a lawyer（弁護士を探す）](#) をご覧ください。

養育計画書には両親と立会人の署名が必要です。署名後は、双方が変更合意、または裁判官が変更する十分な理由があると認めない限り、計画書に従わなくてはなりません。

養育計画が合意に至らない場合は、mediator（調停人）または arbitrator（仲裁人）などの家族法専門家に助けを求めることができます。裁判所で裁判官に決めもらうことも可能です。

Mediation（調停）

親同士だけで合意に至らない場合は、Mediator（調停人）を利用することも可能です。

Mediator は、親同士で問題点について話し合い、双方の立場を考慮しつつ合意に達するよう手助けをする専門家です。

Mediator は以下のことは行いません。

- ・ 法的アドバイス
- ・ 意志決定
- ・ 一方の親の支持

Mediator は、ソーシャルワーカー・弁護士・心理学者などの専門家である場合がほとんどです。

Mediation を申し立てる際に弁護士は必須ではありません。しかし、どのような同意書でも署名する前に各々の弁護士に確認をもらい、法的アドバイスを得る事をお勧めします。

調停が、有益でない時もあります。例えば、暴力・虐待があった場合や、深刻な精神疾患や薬物使用の問題を抱えている場合です。

Ministry of the Attorney General（オンタリオ州司法省）は家庭裁判所の中で、無料または sliding-scale（スライド制）で利用できる Mediation サービスを設けています。スライド制とは、家計所得や子どもの数に応じて変動する料金制度です。

詳細については、Ministry of the Attorney General の下記サイトにて「Family Mediation Services」で検索して下さい。

www.attorneygeneral.jus.gov.on.ca

Legal Aid Ontario（LAO、オンタリオ法律支援サービス）でも、経済的な条件を満たした方を対象に Mediation サービスを提供しています。詳しくは Legal Aid Ontario（**1-800-668-8258**）にお問い合わせ下さい。

親は、民間の調停人を雇うことも可能です。

Arbitration（仲裁）

Arbitrator（仲裁人）は、Mediator（調停人）と同様に、親同士の話し合いで合意に達するよう手助けをする専門家です。ただし Mediation とは異なり、双方の合意が得られない場合は Arbitrator が決断を下します。

Arbitrator は大抵、元裁判官や精神保健の専門家や家族法の弁護士です。通常、両親共に Arbitrator への費用支払いが必要です。

オンタリオ州では、Arbitrator は法的に拘束力のある決定を下すことができます。つまり、Arbitrator が下した決定には裁判所命令のように従う必要があります。

ですが、このルールは Arbitrator がある一定の規則に従っている場合のみ有効となります。以下が最も重要な規則の内 2 つです。

- ・ 通常、Arbitration 手続きに同意する前に、各々の親が法的助言を得る必要がある。
- ・ Arbitrator は、カナダ家族法に則り、子どもにとって最善の利益となるかを基準にして決断を下す。つまり、宗教や文化的背景または他のルールに基づいて判断を下すことはできない。Arbitrator は裁判官がカナダの裁判所で適用している法律を、適用する。

宗教指導者や地域社会のリーダー、信頼している人に家族法に関する問題について相談する人もいます。ですが、これらの相談相手が家族法での Arbitration が成り

立つための全てのルールに従うことと、同時に双方の親が彼らに法的決定をする権限を与えることへの同意がなければ、彼らに決定を下す法的な力はありません。

Arbitration に入る際に弁護士は必須ではありません。しかし、署名する前に各々の弁護士に同意項目の確認をしてもらい、法的アドバイスを得る事をお勧めします。

詳細については、下記 Ministry of the Attorney General のウェブサイトにて「Family Arbitration」で検索して下さい。

www.attorneygeneral.jus.gov.on.ca

Court（裁判）

裁判を起こすには、複雑な工程と長い時間を要します。ストレスになったり、費用も掛かるでしょう。しかし、問題を解決するために裁判が必要な時もあります。

裁判官は、親権と面会交流権の決定を「**best interest of the child（子どもの最善の利益）**」に基づき行います。

裁判官は、両方の親と関係をもつことが子どもにとってより良いことであると通常はみなしています。裁判官が考慮することの中には以下のことがあります。

- ・ 各親と子どもの関係
- ・ 各親と子どもの感情的なつながり
- ・ 子どもが安定した環境で生活している期間
- ・ 子どもの世話や養育に対する各親の計画
- ・ 子どもを養育するための各親の能力
- ・ 場合によっては、子どもの意見と要望
- ・ 家族や子どもに対する虐待の有無

健全な親として振る舞う能力が弱いと見受けられた場合を除いて、裁判官は親の過去の行動を考慮することはありません。例えば、家族が分裂した原因がどちらの親にあるかは考慮しません。しかし、親が次の人に対して暴力や虐待をおこなったか否かは考慮します。

- ・ パートナー
- ・ 家庭内の誰か
- ・ 子どもの親
- ・ 自分の子ども、もしくは他人の子ども

Assessments（調査報告書）

子どもにとって最善の利益とは何かを見極めるため、裁判官は親権や面会交流権の決定を下す前に独立した専門家からの意見を求める場合があります。これは **Assessment（調査報告書）** と呼ばれ、心理学者・ソーシャルワーカー・精神保健専門家などの専門家によってまとめられた調査書の事を指します。

裁判官から以下の内容を命じられる場合があります。

- ・ 親への民間の報告書の取得およびこの費用の自己負担
- ・ Office of the Children's Lawyer（OCL、子供の代理人を務める弁護士事務所）に報告書の作成の依頼（OCL にケースが受理された場合は無料）

裁判開始前の段階で片方の親が特定の問題に関しての決定が必要であると主張した場合、裁判官により臨時命令が下されることがあります。

また裁判のプロセスが始まった後であっても、両親の合意をもって裁判手続きを停止させることも可能です。裁判の過程では、多くの部分で両親の合意を推奨しています。

裁判のプロセスへの理解の手助けとして、裁判の流れを図にしたもの（flowcharts）が CLEO の **Steps in a Family Law case（家族法事例の手順）** に掲載されています。詳しくはこちら www.familycourt.cleo.on.ca を参照ください。

◎ Finding a lawyer 弁護士を探す

Law Society of Ontario（オンタリオ州の弁護士会）

Law Society of Ontario（LSO、オンタリオ州弁護士会）は、オンタリオ州で弁護士活動をしている弁護士の情報を一括しています。雇う弁護士に家族法の経験がある

かどうかを確認しましょう。Law Society には家族法専門の Certified Specialists (認定専門弁護士) の一覧もあります。

Law Society のサイト www.lsuc.on.ca にアクセスし、「Find a Lawyer or Paralegal (弁護士またはパラリーガルを探す)」をクリックするか、電話にて直接お問合せ下さい。

Toll-free **1-800-668-7380**

Toronto area **416-947-3300**

Law Society Referral Service (弁護士紹介サービス) は、30 分間の無料相談を提供している近隣の弁護士を紹介するオンラインサービスです。当事者の母国語を話す弁護士や Legal Aid certificate を受取する弁護士の問合せも可能です。Legal Aid Certificate についての詳しい情報は 12 ページの [What if I cannot afford a lawyer? \(弁護士費用の負担が難しいときは?\)](#) をご覧ください。

勾留中またはシェルターなどインターネットがつかない地域に滞在しているなど、オンラインサービスを利用できない場合は Crisis Line (電話緊急相談) の利用も可能です。こちらのホットラインの相談受付時間は月曜日から金曜日の 午前 9 時から午後 5 時です。

こちらのウェブサイトをご覧ください、直接お電話でお問合せ下さい。

ウェブサイト www.findlegalhelp.ca

Crisis Line フリーダイヤル **1-855-947-5255**

Crisis Line トロント市内局番 **416-947-5255**

Legal Aid Ontario (LAO, オンタリオ法律支援サービス)

Legal Aid Ontario (LAO、オンタリオ法律支援サービス) は、弁護士を検索できるサービスを提供しています。以下のウェブサイトから場所と言語で家族法専門の弁護士を検索することができます。

www.legalaid.on.ca/en/getting/findingalawyer.asp

◎ Getting more information

更なる詳しい情報を得るには

Family Law Information Centres (FLICs、家族法情報センター)

Ministry of Attorney General は、家族法を取り扱う全ての裁判所に FLIC を設けました。全ての FLIC には無料の冊子が置いてあります。多くの FLIC では、情報の提供や地域機関と法律サービスを紹介する職員がいます。最寄りの FLIC は、司法省のウェブサイト www.attorneygeneral.jus.gov.on.ca で検索できます。

Advice Lawyers (法律相談弁護士)

FLIC では、一定の時間帯に Legal Aid Ontario から派遣された弁護士が質問に答えたり、一般的な法的助言及び家族法問題に関する法的書類の確認を受け付けています。対応可能な時間は、最寄りの FLIC にお問い合わせください。

◎ What if I cannot afford a lawyer?

弁護士費用の負担が難しい場合

Legal Aid Ontario (LAO、オンタリオ法律支援サービス) からの援助を受けられるかもしれません。LAO は、さまざまなサービスを通じて、低所得者が法的支援を受けられるようサポートを行っています。サービスを受けるには、経済的な制約があります。

利用対象になるかを確認するには、LAO のウェブサイト www.legalaid.on.ca を参照するか、下記に連絡してください。

フリーダイヤル	1-800-668-8258
フリーダイヤル (TTY、聴覚障害者専用)	1-866-641-8867
トロント市内局番 (コレクトコール受付け)	416-979-1446
トロント市内局番 (TTY)	416-598-8867

LAO では、以下のサービスも提供しています。

❖ Family Law Service Centres（家族法サービスセンター）

Family Law Service Centres では、書類サポートや法廷での弁護、及び他のサービスへの紹介を受けることができます。このサービスは、オンタリオ州内の様々な地域で利用できます。

❖ Family Law Offices（家族法オフィス）

Family Law Offices は、ケノーラ市とオタワ市、そしてサンダーベイ市に設けられており、親権や面会交流権、各種支援及び児童保護や接近禁止命令などの問題を支援しています。

❖ Family duty counsel （家族法の一時相談を担当する当直弁護士）

Family duty counsel は、家族法に関する問題や基本的な裁判手続きの助言や合意（settlement）への交渉、また裁判所や法廷でのサポートをおこなうことが可能です。ただし、裁判では代理人になることはできません。オンタリオ州の多くの裁判所がこのサービスを実施しています。

❖ Summary legal advice（手短な法律相談）

家族法問題について、弁護士から最長 20 分までの無料法律相談を受けることができる可能性があります。このサービスは電話のみで可能です。

❖ Certificate program（証明書プログラム）

代理人を務める弁護士費用の一定時間分を補うために、LAO に証明書（certificate）を申請することができます。これは、調停のプロセスや離別同意書の交渉を助けるための弁護士費用にも使える場合があります。

家庭内暴力や児童保護、複雑な家族法の案件でも、証明書を得ることができるかもしれません。

Faster certificates for victims of domestic violence (家庭内暴力被害者のための即時証明書)

もし自分が家庭内暴力の被害者であり、LAO に電話した時にその旨を知らせると、証明書申請サポートの優先枠に入ります。緊急の場合は、直接オフィスで申請すると当日に証明書を発行してもらえる可能性もあります。

❖ Law school clinics (法学部内の法律事務所)

オンタリオ州の各大学法学部には、弁護士の指導のもと法学部生が配置されている法律相談所が付設されています。この相談所は、キングストン市・ロンドン市・オタワ市・サンダーベイ市・トロント市・ウィンザー市に設置されています。

これらのクリニックでは、親権・面会交流権・養育費に関する支援が可能です。また、いくつかのクリニックでは、財産分与や配偶者扶養といったその他の家族法の問題の支援も可能です。

◎ Other information and resources

その他の情報と資料

Community Legal Education Ontario (CLEO) コミュニティー・リーガル・エデュケーション・オンタリオ

CLEO は家族法に関する一連の情報をオンラインと冊子で提供しています。シリーズの中には、子どもの養育費や親権、配偶者扶養及び財産分与などの情報もあります。冊子の注文やオンラインで閲覧したい場合は、www.family.cleo.on.ca または 416-408-4420 へお問い合わせください。

CLEO の「[Steps in a Family Law Case](#)」では、3 つのフローチャートを使いながら家族法の裁判の過程を紹介しています。www.familycourt.cleo.on.ca を参照ください。

CLEO の「[Steps to Justice](#)」は、家族法を含む一般的な法律問題の情報などを段階を追って紹介するウェブサイトです。こちらでは、記入用紙やチェックリストなどの実

用的なツールの他に、法律・社会福祉サービスに関する情報も紹介しています。
www.stepstojustice.ca を参照ください。

Ontario government family law website オンタリオ州政府の家族法ウェブサイト

Ministry of Attorney General は、家族法に関する多くの情報をウェブサイト
www.attorneygeneral.jus.gov.on.ca/english/family で提供しており、
家庭裁判の過程に関する情報と「**What you should know about Family
Law in Ontario（オンタリオ州の家族法について知っておくべきこと）**」という冊子
も 9 つの言語で掲載されています。

Family Law Education for Women website 女性のための家族法教育（ウェブサイト）

オンタリオ州の家族法に沿った女性の権利に関する情報を提供しています。14 言語
と複数の書式で利用できます。www.onefamilylaw.ca を参照ください。

Family Law Information Program 家族法情報プログラム

Family Law Information Program は、これから家庭裁判所制度を利用する方の
ための情報をオンラインで紹介しています。Legal Aid Ontario のウェブサイト
www.legalaid.on.ca を参照ください。

Ontario court（オンタリオ州裁判所）websites

オンタリオ州にある 2 か所の家庭裁判所で、裁判の流れについての情報を掲載してい
ます。こちらのウェブサイト www.ontariocourts.ca/ocj にて、**Representing
Yourself at Your Family Law Trial – A Guide（弁護士なしでの家庭法裁
判ガイド）** で検索すると詳細を閲覧できます。また、Superior Court of Justice
（上位裁判所）のウェブサイト www.ontariocourts.ca/scj にて、**A Guide
to Process for Cases at the Superior Court of Justice（上位裁判所手
続きのガイド）** で検索もできます。

最後に

この記事は一般法的情報をお知らせするもので、特定の状況についての法的アドバイスを得ることに替わるものではありません。

CLEO は、家族法や他の法律について多くの無料情報冊子を発行しています。法律改訂に併せて刊行物を逐次改訂しています。「廃棄表 (Discard List) 」をご覧ください。ただし、有効期限が切れているものは破棄いただけますようお願いいたします。

発行記事の閲覧、注文用紙または廃棄リストをご要望の方は、www.cleo.on.ca を参照ください。電話（416-408-4420）でもお問い合わせいただけます。

CLEO の Steps to Justice のサイトでは、一般的な法律問題に関する情報も掲載しています。www.stepstojustice.ca を参照ください。

Published by (発行者)
CLEO (Community Legal Education
Ontario / Éducation Juridique Communautaire Ontario

With funding from (資金提供)
Legal Aid Ontario
Department of Justice Canada

Translated by (翻訳者)
Japanese Social Services